

一人一人が自分らしさを発揮し、異年齢の 関わりを深めるための保育のあり方を探る

芦屋市立潮見幼稚園

幼小の連携を通して小学校への期待が膨らむ

5歳児 2学期

幼児が様々な活動をする中で一人一人が自分らしさを発揮しながら、人との関わりを深めていくことを願っている。潮見幼稚園は小学校と隣接し、通用門でつながっている。そのよさを生かし、子ども同士が継続して関われるようにしたいと願った。令和5年度2学期より月2回小学校の20分休みを利用し、小学1年生と5歳児が幼稚園や小学校で一緒に遊ぶ「しおみタイム」を行った。通用門を「なかよしドア」と名付け、お互いが身近に感じられるようにした。

【しおみタイムのねらい】

- (幼) 好きな遊びの中で交流を深め、小学生や小学校を身近に感じ、親しみをもつ
- (幼) 1年生との関わりを通して得た学びを自分達の遊びに生かす
- (小) 幼児との関わりを通して、小学生として自信をもつ

令和5年度

なかよしドアでつながろう

(令和5年9月)

あつまれ！ しおみタイム

しおみようちえんには、32にんのこどもがいます。
まいにち、えんていで げんき いっぱい あそんでいます。
しょうがくせいの おにいさん おねえさんも いっしょに ようちえんで、あそびませんか？
いろいろな おともだちが あそびにきてくれることを たのしみにしています。

＜しおみようちえんの ようす＞








いちりんしゃや、ながなわを いっしょにしてくれる
おにいさん・おねえさん まってます！

しおみタイムの やくそく

- ①しおみタイムは、やくそくのひの 20ぶんやすみのじかんに します。(あめのひはありません)
なかよしドアを ようちえんの せんせいが あけます。そこから きてください。
- ②ようちえんの、しょういんしつづのまえの つくえに、みなさんの めいぼを おいています。
あそびにきてくれたひとは、じぶんのなまえのところに、〇じをつけてください。
- ③ようちえんの えんていで あそびましょう！
ようちえんの ゆうぐや、たいいくそうこにあるものは じゆうに つかっていきます。
つかったものは、もとのばしょに なおしましょう。
わからないときは、ようちえんのこどもたちや せんせいに きいてください。
ようちえんの えんていは、ちいさい こどもたちのために あります。
おにいさん・おねえさんとして、あそびかたを かんがえてくれると うれしいです。
- ④しおみタイムは、しょうがつこのやすみじかと おなじです。
3じかんに おくれないように、あそんでいたものを かたづけて もどしましょう。

＜こんげつのしおみタイム＞ 9がつ20にち(すい)・25にち(げつ)

「しおみタイム」の様子を
広報番組あしやトライあんぐる
で紹介していただきました。⇒



令和5年度の1年生には潮見幼稚園出身の子が少なかった。そのため1年生が期待をもち、潮見幼稚園に足を運びやすいように「あつまれ！しおみタイム」というポスターを作成し、通用門や1年生の各教室に掲示した。

その後も毎月発行し、5歳児が遊んで楽しかったことや、次回、1年生としてみたい遊びなどを掲載した。



ポスターを見てたくさんの1年生が来てくれたね。5歳児と1年生との関わりが生まれるように環境を用意して見守ろう。

一緒に折り紙しよう

(令和5年10月)

子ども同士が自ら関われるようにハロウィンのカボチャの折り紙コーナーをつくり、折り方を提示しておいた。子ども達がどのように関わっていくかを見守っていくことにした。折り紙は互いに親しみがある遊びであり、身近な行事であるハロウィンがテーマであったため、園児と1年生が関わり合って、折り紙遊びを楽しんでいた。



5歳児 ハロウィンのカボチャ折りしたいなあ
1年生 このカボチャの折り方知っているよ
1年生 こうするんだよ
5歳児 ぼくもやってみよう

やってみたいという気持ちを
1年生が受け止めてくれたね。



1年生に教えてもらったことで、今度は自分達が4歳児に伝えたいという思いにつながった。



5歳児 ハロウィンのカボチャの折り方知ってる？
5歳児 4歳児さんに分かりやすい折り方にかえてみよう
4歳児 私も折ってみたい

1年生に教えてもらったことを早速4歳児に
教えていたね。4歳児にわかりやすい折り方を
自分達で考えたんだね。



小学校で遊ぼう

(令和6年2月)

「しおみタイム」を重ねていくことで、自分達も小学校に行ってみたいと思うようになった。2月から低学年専用の中庭で「しおみタイム」を実施した。小学校の中庭で行うことで子ども達の新たな関わりや遊びが生まれ、5歳児の入学への期待が膨らむようにと願った。



5歳児 一緒にやってみ
いな
1年生 いいよ。縄をよく
見て跳んでね。
5歳児 わかった
5歳児 難しいけど楽しい
なあ

1年生 初めてなのに上手だね
5歳児 ありがとう

初めての小学校の中庭でも一緒に遊んだことのあ
る1年生がいてくれたので、安心して遊べたね。
小学校への期待がますます膨らんだね。



令和5年度の成果と令和6年度にむけて

- ・「しおみタイム」が定着したことで、小学校にも友達ができて入学への期待が膨らんだ。
- ・令和5年度の「しおみタイム」を経験した5歳児が、令和6年度には1年生として参加することで、学びや経験が積み重なっていく。今後も小学校と互いの学びを探りながら取組を計画・実践していく。
- ・5歳児と1年生だけではなく、園と小学校全体の取組として、職員全体で共通確認できるようにする。

令和6年度

令和6年度の「しおみタイム」について、小学校教員から「しおみタイム」が登校する楽しみの1つとなるよう、曜日を固定して行いたいと提案があった。そこで月2回から週1回、毎週水曜日に行うこととした。また、教師の援助や手立てについて1年生と園児が主体的に遊びに取組めるように環境を再構成し、見守っていくことを確認し合った。

※ 6

ドングリワールドに来てほしい (令和6年10月)

運動会以後、いろいろな素材を使い、友達と工夫してドングリを転がすコースを作った。「ドングリワールド」と名付け、みんなで遊ぶことが楽しくなった。もっと色々な人に来てほしいと話し合い「しおみタイム」で1年生を誘った。



- 1年生 ドングリ転がしてみたい？
5歳児 いいよ
1年生 あれ、ドングリが途中で止まった
コースのつなぎ目のガムテープにドングリ
がくっついていてからだよ
くっつかないように貼ってみて
5歳児 なるほど、やってみる

1年生が帰った後、教えてもらったことを友達に伝えた。

- 5歳児 1年生に教えてもらったよ
ガムテープはよくくっつくから、
気を付けて使わないといけないよ
5歳児 あっそうか
5歳児 じゃあ、ぼくも転がりにくいから、
くっついていないか、みてるよ



1年生に何故上手に転がらないのかを教えてもらったことをクラスのみんなで伝え合って、ドングリワールドの遊びが楽しくなったね。



宮川幼稚園と一緒に遊んだ時に1年生にしてもらったようにやさしく声を掛けていた。



- 潮見幼5歳児 こっちのコースはスピードが
でるんだよ！
潮見幼5歳児 このコースは落ちやすいから
気をつけて
宮川幼5歳児 おもしろいなあ
ぼくたちも作ってみたいくなった



宮川幼稚園の友達に自分達のドングリワールドの面白さや工夫を楽しそうに伝えていたね。いろいろな友達と遊びを積み重ねていくことで自分から関わろうとするようになったね。



- ・継続して異年齢での関わりをもつことで、思いを伝え合ったり、優しく教え合ったりするようになり、思いやりの気持ちが芽生える
- ・1年生から教えてもらったことを生かして考えたり、工夫したりするようになる
- ・今まで以上に小学生や小学校という「人」と「場」が身近に感じられ、入学への期待が膨らむ

小学校の教員と継続的に話し合ってきたことで、互いの視点に気付き、それぞれの教師の願いや考えを理解し合えるようになってきた。「しおりタイム」を楽しみに登校する姿から、1年生にとっても価値のある時間となっている。今後も小学校との関わりを大切に、架け橋期のカリキュラム作成につなげていきたい。

※ 6

の学びの接続

小学校以上の教育

生活 図工

関連する教科

関連する10の姿

社会生活との関わり 思考力の芽生え 言葉による伝え合い

知識及び技能の基礎

- ・毎週小学生が幼稚園に遊びに来る交流の場「しおりタイム」があることを知っている
- ・ドングリがうまく転がるためにはガムテープの使い方を工夫するといいいことに気付く

思考力、判断力、表現力等の基礎

- ・1年生に自分たちの遊びに参加してもらうにはどうしたらいいか、方法を考える
- ・1年生に教えてもらったことを伝え合って工夫しようとする

遊びを通しての
総合的な指導

- ・自分達が遊んでいる場所にいろいろな人に来てほしいと思う
- ・自分達の遊びに来てもらおうと1年生を誘う
- ・1年生に教えてもらった工夫を友達に伝える

学びに向かう力、人間性等

幼児教育

【子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力】

	幼稚園教育において育みたい3つの資質・能力		
	(1) 知識及び技能	(2) 思考力、判断力、表現力等	(3) 学びに向かう力、人間性等
遊びや生活	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。
	小学校第1学年で育成することを目指す3つの資質・能力		
	(1) 知識及び技能	(2) 思考力、判断力、表現力等	(3) 学びに向かう力、人間性等
国語	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりすることができるようにする。	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
算数	数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。
生活	学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気付き、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。	身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。	自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活するようにする。
音楽	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見い出しながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
図画工作	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組む、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。
体育	各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行いを知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。	各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。	各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

(1)健康な心と体	幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
(2)自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。
(3)協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。
(4)道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。
(5)社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域の親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。
(6)思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。
(7)自然との関わり・生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをかかわるようになる。
(8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。
(9)言葉による伝え合い	先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。
(10)豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】出典・参考文献

- 幼稚園教育要領（平成29年告示）
- 幼稚園教育要領解説（平成30年3月）
- 小学校学習指導要領（平成29年3月告示）

文部科学省
文部科学省
文部科学省

